

創業100年 金属の総合デパート

～材料販売・金属加工を一貫生産～



高橋金属 株式会社

代表取締役社長

高橋 伸治氏

- 住所：岐阜県岐阜市柳津町流通センター1-12-4
- TEL：058-279-3161
- FAX：058-279-3631
- URL：<http://www.takahashi-metal.co.jp/index.html>
- 事業内容：伸銅品・伸銅加工品、表面処理鋼板、レベラー加工品・シャーリング加工品の製造販売、アルミ・ステンレス
- 従業員数：90人（グループ会社含む）

■ 金物屋から「商社」×「加工メーカー」へ

聞き手：御社の歴史について教えてください。

高橋社長：当社は大正8年に私の祖父にあたる高橋清治が創業しました。揖斐郡の池田町出身で岐阜に出てきたときに高橋清治商店として事業を始めました。現在も使用している屋号のロゴは「池」を○で囲ったものとなり創業者の出身地からとったものです。創業当初は板金屋さんが使う針金や釘やハサミなどを扱う金物屋として営んでいましたが、その後、三宝伸銅工業(株)（現三菱伸銅(株)）の特約店となり、銅や真鍮といったものを取り扱うようになりました。この辺りから現在の事業にもつながる非鉄金属を販売する事業がスタートしたのです。その後、現在の高橋金属(株)へ法人格を変更し、鉄鋼部と伸銅部・特販部の営業3部門制に組織の変更を行いました。昭和52年には上竹町で事業を営んでいたトラックなどの交通に不便であるということから現在の流通センターに本社を移転しました。加工にも力を入れていこうということで、当社の加工部門を担う子会社(株)チューブ製作所を昭和58年に設立し、現在の企業体制の礎となっています。

■ 鉄と非鉄金属の二刀流で事業展開

聞き手：事業内容についてお聞かせ下さい。

高橋社長：当社は現在銅や真鍮など非鉄金属の素材と加工部品販売を行う伸銅部と、表面処理鋼板を中心とした各種鋼板を販売する特販部の2部門で事業を行っています。

伸銅部では素材販売のみでなく、関連会社を活用した

部品加工・組付けまでを行い、他社との差別化を図っています。

特販部では、高炉メーカーより仕入れたコイル状になった鋼材をレベラー機で板状に加工し、シャーリングマシンでさらに細かく切断する加工を行い、販売しています。ユーザー希望のサイズにカットできる当社は多くの取引先からコストダウンや歩留り向上に役立つと重宝されています。

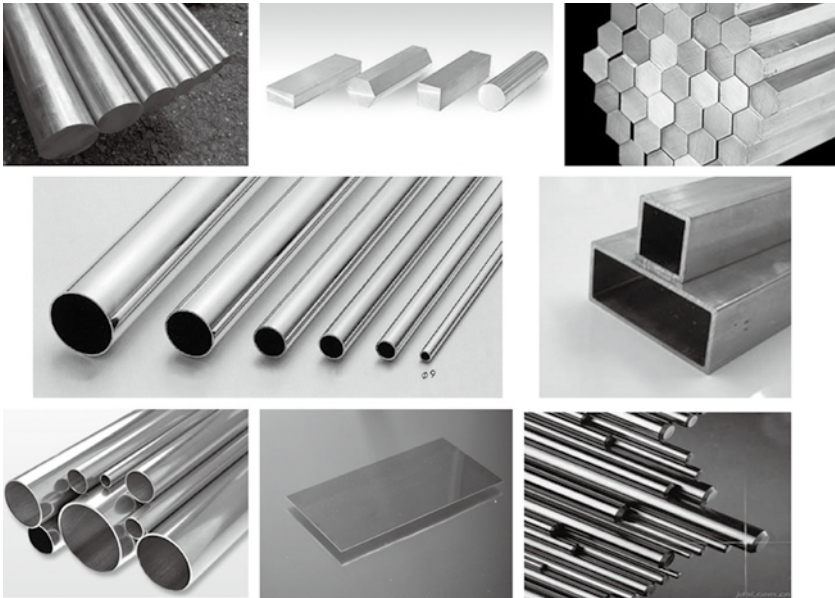
聞き手：金属の業界の現状はいかがでしょうか。

高橋社長：金属にはそれぞれに相場といったものがありますが、銅相場は高値で安定していて堅調に推移しています。鋼材の市況は、中国の過剰生産による影響から国際的な価格水準が低くなることもありましたが、中国の生産能力の削減や国内需要が高くなっている背景もあり、市況価格は安定してきています。金属業界は地金価格の動向と販売するお客様の状況によって大きく影響をうけます。現在は建築や自動車や工作機械関係をはじめとした金属を扱う業種全体が好調なことから比較的よい状況といえるのではないのでしょうか。

■ 創業100年 目標は売上100億円

聞き手：会社設立から70周年、創業から100周年を迎えられるそうですが何か取り組まれていることはありますか。

高橋社長：おかげさまで当社は来年度の第67期が創業100周年にあたります。その前年の平成29年度は売上高100億円を目標に取り組んできましたが、上期で56億円の売上を達成することができ、年間目標も今のままだと達成できる見込みです。実はリーマンショック以前には、130億円と



▲伸銅部素材



▲伸銅部加工部品

今以上の売上を達成する年もありましたが、金属相場は今より高く、同じ数量を販売していても全体的な売り上げは高くなっている状況でした。しかし、リーマンショック後には、売り上げが85億円まで落ち込むときもあり、金属価格が安定している現在での目標達成は非常に意味のあることであると感じています。

■ 迅速な対応と情報共有でトラブル防止

聞き手: 品質へのこだわりはありますか。

高橋社長: 品質については、年々厳しくなってきました。我々としてもISO9001品質マニュアルを基本としてトラブルが発生すれば迅速に対応するなど品質が維持できるように取り組んでいます。不良品を流出させないためにも、まずは社内で不良品を出さないことを第一に考え、発生した原因や経緯に対しては是正処置報告書を出すなど、同じ不具合が発生しないように再発防止に努めています。またこれらの活動は、水平展開することにより他部署でも情報共有ができるので、会社全体で不良品が発生することを未然に防ぐことにつながっていると思っています。

しかし、最近では外観についての要求も特に厳しくなっています。実際に使用する上では問題なかったとしても、今までは指摘されなかったような細かな傷などでクレームになって、場合によっては返品といったことにもなります。我々としてもこれらの状況にどのように取り組んでいくべきか加工工程の見直しも含め現在検討を進めているところです。

聞き手: 人材育成についてはどのように取り組まれていますか。

高橋社長: 毎年教育訓練計画表というものを作成しており、部門ごとに実施しています。外部の研修会に参加するだけでなく、仕入れメーカー担当者による勉強会などを行っています。社員が講師になっての勉強会も行うこともありますが、教える側も理解していないと上手に伝えることができ

ないため、お互いにとって良い勉強会になっていると思います。それ以外には、改善発表会を年1回行っています。部門ごとに一年間取り組んだ改善事例の発表を行います。今年で15回目になります。普段は接することのない他部門の改善事例を聞くことにより、自分たちの部署で何か活かせないか、模索してもらうことにもつながっているのではないかと考えています。

また、提案制度を設け毎月社員から提案書を提出してもらっています。

月平均7~8件の提案が出されます。提案者には毎月朝礼で表彰をしています。こうした取り組みによって改善点がないか常日頃考えてもらう癖をつけるようにしています。

また、役職者にはキャリアアップの土台として商工会議所主催のビジネスマネージャー検定試験の受験や経営者協会の研修に参加してもらい、一定のレベルに到達できるように技術や知識を身につけてもらっています。

■ 家族とのスキーでリフレッシュ

聞き手: 声が大変若々しいのですが、休日はスポーツなどを動かすことをされているのでしょうか

高橋社長: ゴルフはお付き合いですが年間40回程度行っています。冬場はゴルフができないのでスキーを行っています。ゴルフに必要な足腰も鍛えられるし、孫と一緒に3世代で楽しんでいます。昔に比べて高速道路のおかげでスキー場にも短時間でいけるようになり、家族内のコミュニケーションアップにもなりますし、何よりゲレンデから見る雪山の景色は心が大変リフレッシュできます。

聞き手 (一社)岐阜県経営者協会 広報部会委員
 (株)市川工務店

執行役員営業部長 **国島 太佳生 氏**

【平成29年の労働力状況】

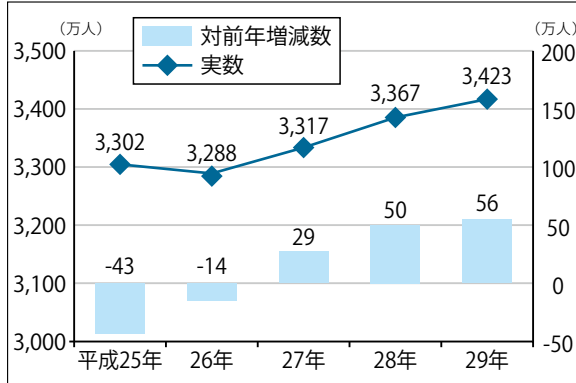
総務省は、就業・不就業の状況を把握するため労働力調査を実施した。

平成29年における調査結果については下記の通り。

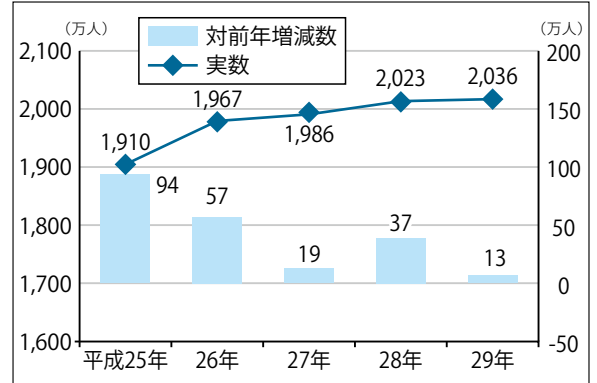
正規・非正規の職員・従業員

役員を除く雇用者は5,460万人（前年比69万人増）となった。このうち正規の職員・従業員は3,423万人（同56万人増）となっている。一方、非正規の職員・従業員は2,036万人（同13万人増）となっている。

■ 正規の職員・従業員数の推移



■ 非正規の職員・従業員数の推移



完全失業者

完全失業者は190万人（前年比18万人減）で8年連続の減少となった。失業期間別にみると、失業期間が3か月未満のものは64万人（同4万人減）、3～6か月未満の者は27万人（同昨年同数）、1年以上の者は67万人（同10万人減）となった。

■ 失業期間別完全失業者の推移(実数)

	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
完全失業者	266万人	237万人	222万人	208万人	190万人
3か月未満	76万人	74万人	73万人	68万人	64万人
3か月以上	180万人	154万人	141万人	131万人	119万人
3～6か月未満	37万人	33万人	32万人	27万人	27万人
6か月～1年未満	38万人	33万人	32万人	27万人	25万人
1年以上	104万人	89万人	77万人	77万人	67万人

就業異動の状況

過去1年間の離職経験者は、平成29年平均で559万人（前年比10万人減）となった。これを現在の就業状態別にみると、現在は就業者の者（転職者）が311万人（同4万人増）となった。一方、現在は完全失業者の者が85万人（同7万人減）、現在は非労働力人口の者が163万人（同7万人減）となっている。

転職者の比率をみると平成29年平均で4.8%と、前年と同率となった。男女、年齢階層別では、男女共に15～24歳が最も高く、男性は10.0%、女性は12.2%となった。なお、45～54歳以下の各年齢階級では女性が男性よりも高く、55～64歳以上の各年齢階級では男性が女性よりも高くなった。

■ 年齢階級別転職者及び離職者比率の推移

	転職者比率(%)													
	男性							女性						
	総数	15～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65歳以上	総数	15～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65歳以上
H29	4.0	10.0	6.1	3.5	2.3	3.8	2.1	5.7	12.2	8.4	6.0	4.6	3.5	1.5
H28	4.0	10.0	6.0	2.7	2.3	4.0	2.6	5.8	13.0	7.9	5.9	5.0	3.6	1.3
H27	3.9	10.4	6.0	2.9	2.1	3.8	2.3	5.7	11.9	8.4	6.1	4.8	3.4	1.4
H26	3.8	10.2	5.7	3.1	2.1	3.7	1.9	5.6	12.7	7.6	6.2	4.2	2.9	1.5
H25	4.0	10.4	5.9	3.2	2.3	3.9	2.1	5.3	11.5	7.5	5.7	3.9	2.9	1.2

資料出所：総務省「労働力調査（詳細集計）平成29年（2017年）平均（速報）」

【一般労働者と短時間労働者の賃金状況】

厚生労働省は全国の主要産業に雇用される労働者の賃金の実態を調査した。

一般労働者(短時間労働者以外の労働者)の賃金(月額)

都道府県別の賃金の水準をみると、全国計よりも賃金が高かったのは6都府県(千葉県、東京都、神奈川県、愛知県、京都府、大阪府)で、最も高かったのは東京都となった。東海3県では岐阜県が約27.8万円、愛知県が約31.8万円、三重県が約30.0万円となっている。

岐阜県における賃金について産業別にみると建設業が約30.0万と最も多く、続いて医療、福祉 約28.5万円、卸売業、小売業 約27.9万円となっている。

■ 岐阜県の産業別賃金

建設業	299,700円
製造業	266,500円
運輸業、郵便業	267,200円
卸売業、小売業	279,200円
医療、福祉	284,900円
サービス業(他に分類されないもの)	236,900円
産業計	277,900円

短時間労働者の賃金

全国では、男女計1,096円(前年比2.0%増)、男性1,154円(同1.8%増)、女性1,074円(同1.9%増)となっており、いずれも過去最高となっている。

岐阜県の状況については以下の通り。

■ 岐阜県の短時間労働者の1時間当たり賃金 男性

	1時間当たりの賃金
製造業	1,057円
運輸業、郵便業	1,050円
卸売業、小売業	1,035円
宿泊業、外食サービス業	921円
サービス業(他に分類されないもの)	1,133円
産業計	1,072円

■ 岐阜県の短時間労働者の1時間当たり賃金 女性

	1時間当たりの賃金
製造業	983円
卸売業、小売業	937円
宿泊業、外食サービス業	930円
医療、福祉	920円
サービス業(他に分類されないもの)	1,115円
産業計	934円

資料出所：厚生労働省「平成29年「賃金構造基本統計調査」

労働行政リーダー ヘッドライン

第13次労働災害防止計画が策定

厚生労働省は、労働災害防止のために国、事業者、労働者等の関係者が重点的に取り組むべき事項を定めた。労働災害による死亡者数を15%以上減少させることのほか、死傷者数(休業4日以上)、重点業種、メンタルヘルス対策などについての数値目標が設定されている。

資料出所：厚生労働省「第13次労働災害防止計画」

社保険適用拡大への取組 所定労働時間延長が最多

社会保険の適用の拡大に伴い、雇用管理上、「見直しを行った」が1/3程度となった。見直しの内容(複数回答)をみると、「対象者の所定労働時間を短縮した」等の適用回避策を実施した事業所が約7割あった一方、「所定労働時間を延長した」等の適用拡大策を実施した企業が約6割あり、両方を実施した事業所が約半数となった。

資料出所：独立行政法人労働政策研究・研修機構「社会保険の適用拡大への対応状況に関する調査(事業所調査)」

企業の売上高は減少するものの経常利益は増加

一企業当たりの売上高は、製造企業、卸売企業は3年連続の減少となったが、経常利益は、製造企業は2年ぶり、卸売企業は3年ぶりの増加となった。

資料出所：経済産業省「平成29年企業活動基本調査-平成28年度実績-」

<平成31年3月新規高等学校卒業生の就職に関する申し合わせ>

厚生労働省は、平成31年3月に高校を卒業する生徒などの採用選考期日などについて取りまとめられました。

1人でも多くの生徒の働く機会が得られるようにご配慮いただきますようお願い致します。

ハローワークによる 求人申込書の受付開始	6月1日
企業による学校への 求人申込及び学校訪問開始	7月1日
学校から企業への 生徒応募書類提出開始	9月5日
企業による選考開始及び 採用内定開始	9月16日